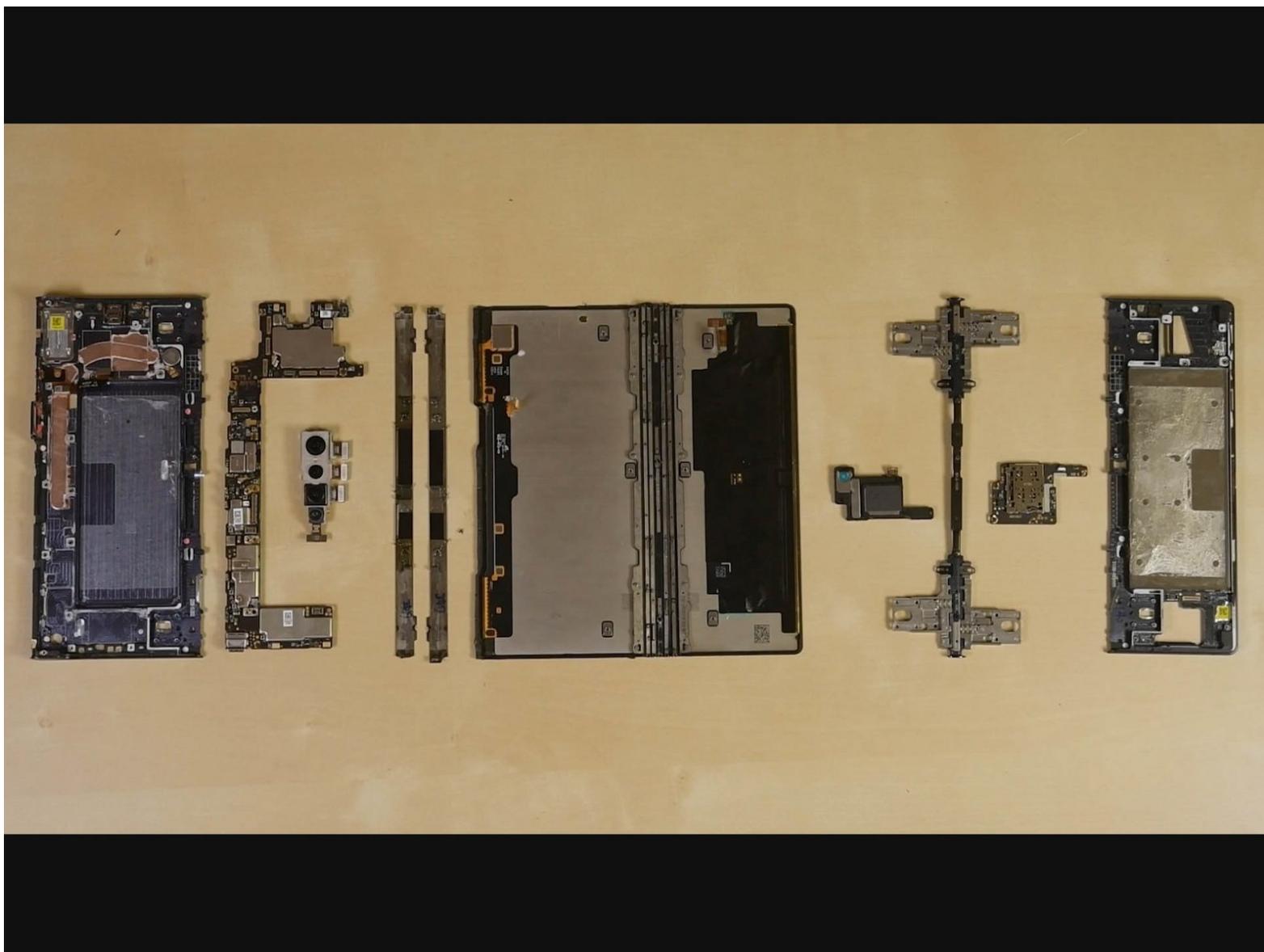




Huawei Mate Xsの分解

iFixitが行なったHuawei Mate Xsの分解です。この折りたたむスマートフォンを解体しました。放熱グリスの量に驚いたり、あやうく爆発寸前のバッテリーに驚愕する場面もありました。

作成者: Michael Degnan



はじめに

まだ4月というのに、今年に入って既に2機種 of 折りたたみスマートフォンの分解をこなしました。そして、3番目の分解となるHuawei Mate Xsを手に入れました。これまで分解した折りたたみスマートフォンと違うのは、脆いプラスチック製OLEDスクリーンが折りたたんだ状態でも外側にあります。

Mate Xsはアメリカ国内で取り扱っていません。スマートフォンをハッキングすれば、Googleのモバイルサービスを利用できます。その代わりにHuaweiはアプリギャラリーとモバイルクラウドサービスを含むHuawei独自のサービスを構築しました。PlayStoreはありません。この2700ドルもする折りたたみスマートフォンを動かしているのは何かを見つけるため、分解を始めましょう。

このビデオを日本語字幕付きでご覧いただけます。YouTubeアカウントにログイン後、画面右下の設定より日本語字幕を選択してください。

手順 1 — リペアビリティ

REPAIRABILITY SCORE:

- 多くのコンポーネントはモジュールで、個別での交換が可能です。
- 脆い折りたためるディスプレイは、修理の際の意気込みと注意力があれば交換可能です。
- バッテリーの交換は簡単ですが、とりわけ強力なバッテリーの接着剤によって不必要に難易度が上がります。
- 全ての修理の始まりと終わりは、頑丈に接着剤で固定されたアウターカバーの作業です。
- 充電ポートがメイン基板に直接半田付けされています。